

青森市新総合計画

—元気都市あおもり 市民ビジョン—

後期基本計画

フォローアップ表

第4分科会

新たな総合計画の行政分野から見た後期基本計画との対比表

新たな総合計画		後期基本計画		
分科会	行政分野	行政分野	施策番号	施策名
第1	産業・雇用	新産業創出	3-3-1	地域資源を活かした青森らしい産業の育成
		商工業・商店街	3-3-2	地場産業の経営体質の強化
		商工業・商店街	3-3-4	地域と一体となった商店街の形成
		企業立地	3-4-1	本市の強みを活かした企業誘致の推進
		雇用	3-4-2	仕事と生活の調和のとれた働き方の促進
		観光	3-5-1	広域観光の推進
	観光	観光	3-5-2	観光資源の充実
		観光	3-5-3	受入態勢の充実
		観光	3-5-4	国内外からの誘客の推進
		農林水産業	3-1-1	意欲ある担い手の育成
	農林水産業	農林水産業	3-1-2	足腰の強い農業経営の促進
		農林水産業	3-1-3	競争力の高い漁業経営の促進
		農林水産業	3-1-4	あおり商品の販売力の強化
		農林水産業	3-2-1	農地の維持・保全
		農林水産業	3-2-2	森林の維持・保全
		農林水産業	3-2-3	漁港・漁場環境の維持・保全
		商工業・商店街	3-3-3	流通機能の強化
		第2	子育て支援	子育て支援
子育て支援	2-4-2			子ども支援の充実
子育て支援	2-4-3			子育て支援の充実
学校教育	4-1-1			教育活動の充実
学校教育	4-1-2			教育環境の充実
学校教育	4-1-3			就学指導・支援の充実
文化	文化・芸術		4-3-1	文化・芸術活動の推進
	文化・芸術		4-3-2	文化芸術資源の継承・まちづくりへの活用
	文化・芸術		4-3-3	文化財の保存・発信
スポーツ	スポーツ		4-4-1	スポーツ・レクリエーション活動の推進
	スポーツ		4-4-2	ウィンタースポーツの推進
	スポーツ		4-4-3	競技水準の向上
市民協働	住民自治・市民参加		1-1-1	市民参加・参画による政策の推進
	住民自治・市民参加		1-1-2	市民との情報共有の充実
	市民協働		1-1-3	地域コミュニティの活性化
	市民協働		1-1-4	多様な主体の連携協働によるまちづくりの推進
その他	行政経営		1-2-1	戦略的な行財政運営
	行政経営		1-2-2	職員の能力開発と組織の活性化
	行政経営	1-2-3	行政サービスの利便性の向上	
	行政経営	1-2-4	行政サービスへの民間活力の活用	
	生涯学習・社会教育	4-2-1	生涯を通じた学習活動の推進	
	生涯学習・社会教育	4-2-2	未来を切り拓く青少年の育成	
	都市間交流	6-1-1	活発な移住・交流を支える広域交流拠点の形成	
	土地利用・市街地	6-1-3	暮らしやすい日常生活拠点の形成	
	健康づくり	2-1-1	生涯を通じた健康づくりの促進	
	健康づくり	2-1-2	感染症対策の充実	
第3	健康づくり	医療	2-1-3	地域医療の充実
		医療	2-1-4	国民健康保険制度の安定的運用
		介護	2-2-3	介護サービスの充実
		保健衛生	5-2-4	衛生的な生活環境の確保
	障がい者福祉	障がい者福祉	2-3-1	障がい者の地域生活支援の充実
		障がい者福祉	2-3-2	障がい者の自立した生活の確保
	高齢者福祉	高齢者福祉	2-2-1	地域包括ケア体制の充実
		高齢者福祉	2-2-2	高齢者の生きがい・元気づくりの充実
	男女共同参画	男女共同参画・人権・平和	2-6-1	男女共同参画社会の形成
	その他	社会福祉	2-5-1	地域福祉の充実
		社会福祉	2-5-2	生活困窮者の自立促進
		男女共同参画・人権・平和	2-6-2	互いを尊重し支え合う社会の形成
		男女共同参画・人権・平和	2-6-3	平和意識の高揚
		交通安全・防犯	5-4-1	交通安全活動の推進
		交通安全・防犯	5-4-2	防犯対策の推進
		消費生活	5-4-3	消費者自立支援対策の推進
		土地利用・市街地	6-1-2	機能的でにぎわいのある都市拠点の形成
	第4	まちづくり	土地利用・市街地	6-2-1
景観			6-2-2	緑豊かな美しい都市景観の形成
住生活			6-3-1	良好な住まいづくりの促進
交通			6-4-1	広域交通網の充実
交通			6-4-2	都市内公共交通の充実
交通			6-4-3	快適な道路環境の確保
防災・雪対策			防災	5-3-1
防災		5-3-2	災害防止対策の推進	
環境		雪処理	6-3-2	雪対策の推進
		環境保全	5-1-1	自然保護活動の推進
		循環型社会	5-1-2	ごみの減量化・リサイクルの強化
		循環型社会	5-1-3	再生可能エネルギーの導入・省エネ活動の促進
		環境保全	5-2-1	適正な汚水排除・処理の確保
		環境保全	5-2-2	公害対策の推進
循環型社会		5-2-3	適正な廃棄物処理の確保	

【行政分野】

まちづくり

【後期基本計画における施策数】 7

- 6-1-2 機能的でにぎわいのある都市拠点の形成
- 6-2-1 効率的で計画的な土地利用の推進
- 6-2-2 緑豊かな美しい都市景観の形成
- 6-3-1 良好な住まいづくりの促進
- 6-4-1 広域交通網の充実
- 6-4-2 都市内公共交通の充実
- 6-4-3 快適な道路環境の確保

1. 施策の基本情報

施策番号		6 - 1 - 2	施策名		機能的でにぎわいのある都市拠点の形成					
施策の現状と課題		<p>中心市街地地区については、本市はもとより県都の顔にふさわしい地区形成を進める必要があります。新青森駅周辺地区については、県内他都市、道南地域とを結ぶ広域交流の玄関口としてふさわしい地区形成を進める必要があります。操車場跡地地区については、低炭素型の先導的な都市環境を創出する地区形成を進める必要があります。浪岡駅周辺地区については、津軽地方の玄関口としてふさわしい地区形成を進める必要があります。</p>								
施策の概要		<p>都市拠点の機能性を高めるとともに、港の持つ多面的機能を活かした魅力ある空間形成など、地域特性に応じた都市機能の配置を進めます。 《中心市街地の地区形成》《新青森駅周辺の地区形成》《操車場跡地の地区形成》《浪岡駅周辺の地区形成》</p>								
目標とする指標		基準値	実績値					傾向		
		H26	H28	H29	H30	H31	H32			
① 中心市街地の歩行者通行量 中心市街地の主要地点（20地点）での平日の歩行者数 （単位：人） （指標の方向：+）	目標値	66,992	—	—	—	—	—			
	指標値	66,992	51,572	—	**	**	**			
	達成率	/	—	—	**	**	**			
	進捗状況	目標値は未設定。実績値は減少傾向にあります。								
② 浪岡地域交流施設の入館者数 浪岡地域交流施設あびねすの入館者数 （単位：人） （指標の方向：+）	目標値	120,024	120,024	122,726	125,428	128,130	130,832			
	指標値	120,024	107,111	106,238	**	**	**			
	達成率	/	89.2%	86.6%	**	**	**			
	進捗状況	実績値は目標値を割り込み、達成率も減少傾向にあります。								
③ （単位：） （指標の方向：）	目標値									
	指標値									
	達成率	/								
	進捗状況									
④ （単位：） （指標の方向：）	目標値									
	指標値									
	達成率	/								
	進捗状況									
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査			
	項目内容	市街地が整備され、都市機能やまちなみが充実している						H28	第 4 / 75 位	
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答					
	年度									
H28	5.6%	30.3%	50.5%	13.6%						

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	青森駅周辺整備推進事業 (H28～29:継続)	H21～	青森駅周辺地区の一体的なまちづくりを推進するため、自由通路と西口駅前広場の整備を進めています。 主な実績として、平成28年度には自由通路の整備について鉄道事業者と基本協定を締結し、基本設計を実施したほか、平成29年度には実施設計を実施しました。
2	りんごの里なみおか推進事業 (H28～H29:継続)	H23～	来訪者に対するインフォメーション及び地域住民の交流の場として、にぎわいのあるまちづくりに寄与するため、指定管理者が持つ知識やアイデア、幅広いネットワークを活用したイベント等を行いました。 (実績 平成28年度:39件、平成29年度:53件)
3	青森操車場跡地利用計画推進事業 (H28～H29:継続)	H20～	青森市の発展を支える都市拠点の一つである「操車場跡地地区」における「青い森」を象徴する緑豊かな交流拠点としてふさわしい地区形成を進めるため、青森操車場跡地利用計画審議会からの答申を踏まえ、関係機関と調整を図りながら、青森操車場跡地利用計画の策定に向けて検討を行いました。
4	石江地区一般保留地購入費助成事業 (H28～29:継続)	H25～	青森都市計画事業石江土地地区画整理事業の一般保留地において、新幹線利用客や周辺住民の利便性向上に資する、広域交流拠点としてふさわしい土地利用の促進を図るため、保留地購入希望者と市の土地売買契約が成立した場合の契約額の一部を助成しました。 (実績 平成28年度:0件、平成29年度:2件)

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

「中心市街地の地区形成」については、本市はもとより県都の顔にふさわしい地区形成を進める必要がありますが、施策の目標とする指標である「中心市街地の歩行者通行量」は減少傾向にあります。

「浪岡駅周辺の地区形成」については、あびねす等施設の活用やイベント回数を増やすなど、趣向を凝らして実施していますが、施策の目標とする指標である「浪岡地域交流施設の入館者数」は減少傾向にあります。

【今後の課題】

医療・商業等の都市機能の立地の促進を図ることにより、人口減少・少子高齢化の中にあっても、市民が持続的に生活サービスを楽しむことができる多極型の都市構造を目指す必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

1. 施策の基本情報

施策番号	6 - 2 - 1	施策名	効率的で計画的な土地利用の推進					
施策の現状と課題	都市づくりの基本的な考え方である「人と環境にやさしいコンパクトシティ」の形成に向け、地域特性に応じ都市機能を分担し、バランスのとれたコンパクトなまちづくりを進めるため、計画的かつ効率的な土地利用を推進するとともに、それぞれの拠点を交通ネットワークでつなぎ相互の連携強化を図る必要があります。							
施策の概要	新たな市街地の拡大の抑制と既存ストックの有効活用を基本に、効率的な都市づくりを推進します。 《適正な土地利用の推進》《計画的な都市基盤の形成》							
目標とする指標	基準値	実績値					傾向	
	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
① 土地・建物の合理的かつ健全な高度利用促進件数 <small>（中心市街地において市の支援などにより老朽化した建物や未利用地などを再利用・高度化した事業件数）</small> 達成度※ （単位：件） （指標の方向：+） C	目標値	4	5	6	7	8	9	
	指標値	4	4	5	**	**	**	
	達成率	/	80.0%	83.3%	**	**	**	
	進捗状況	実績値は増加しているものの、目標値を割り込んでいます。						
② 効率的で計画的な土地利用の推進に関する満足度 <small>（計画的な都市基盤が形成されていると思う市民の割合）</small> 達成度※ （単位：%） （指標の方向：+） A	目標値	3.9	4.1	4.2	4.4	4.5	4.7	
	指標値	3.9	4.9	-	**	**	**	
	達成率	/	119.5%	-	**	**	**	
	進捗状況	実績値は目標値を上回り、順調に推移しています。						
③ <small>（単位：） （指標の方向：）</small> 達成度※	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
④ <small>（単位：） （指標の方向：）</small> 達成度※	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
市民意識調査	満足度調査					ニーズ度調査		
	項目内容	新たな市街地の拡大の抑制と、今ある道路などの社会資本の有効活用を基本とした適正な土地利用が進み、計画的な都市基盤が形成されている					H28	第 22 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	H28	4.9%	28.4%	39.5%	27.3%			

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	古川一丁目12番地地区優良建築物等整備事業（H28～H29：継続）	H25～H29	古川一丁目地内において、老朽化した建物及び土地の集約化・高度利用化により、良好な市街地住宅や来街者を回遊させる通り抜け通路、ポケットパークなどの整備を行いました。
2	立地適正化計画策定事務（H28～H29：継続）	H27～H29	居住や都市の生活を支える都市機能の誘導によるコンパクトなまちづくりと地域公共交通との連携により、「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを進め、持続可能な都市構造への再構築を図ることを目的に、「青森市立地適正化計画」を策定しました。
3			
4			

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

「適正な土地利用の推進」については、平成25年度以降、市街化区域等の面積が維持されるなど、新たな市街地の拡大の抑制が図られているとともに、施策の目標とする指標である「効率的で計画的な土地利用の推進に関する満足度」が順調に推移しているなど、計画的で効率的な土地利用が着実に進められています。

【今後の課題】

人口減少・少子高齢化などの環境変化に対応した持続可能な都市構造への再構築を図る必要があります。適正な土地利用の推進や計画的な都市基盤の形成を図る必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

1. 施策の基本情報

施策番号	6 - 2 - 2	施策名	緑豊かな美しい都市景観の形成					
施策の現状と課題	都市景観については、雪国としての生活様式や地域の歴史、培われてきた自然や風土、生活、文化などのかけがえのない市民共有の財産を守り、また、有効に活用するため、未来に向けた都市景観の展望を市民と行政が共有する、自然と都市が調和した個性豊かな都市景観を形成していく必要があります。 個性豊かな緑と花があふれるまちなみの形成に向け、市民と行政との連携による地域の自主的な緑化活動の推進を図る必要があります。							
施策の概要	市民と行政が共通の将来展望を持って、豊かな自然環境と調和した美しい都市景観の形成を進めます。 《緑と花にあふれたまちなみの形成》《美しい都市景観づくり》《公園・緑地の充実》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 都市景観に関する満足度 〔まちなみが整っていると思う市民の割合〕 (単位：％) (指標の方向：＋)	目標値	13.6	14.6	15.5	16.5	17.4	18.4	
	指標値	13.6	16.7	—	**	**	**	
	達成率	/	114.4%	—	**	**	**	
	進捗状況	目標値を上回り、順調に推移している。						
達成度 [※]	A							
② 緑化活動累積団体数 〔自主的に緑化活動を行っている団体数の累積〕 (単位：団体) (指標の方向：＋)	目標値	795	875	956	1,038	1,121	1,205	
	指標値	795	870	948	**	**	**	
	達成率	/	99.4%	99.2%	**	**	**	
	進捗状況	わずかに目標値を下回っているが概ね順調に推移している。						
達成度 [※]	B							
③ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
達成度 [※]								
④ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
達成度 [※]								
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	良好な景観の誘導のほか、計画的な公園・緑地の整備や管理がなされ、緑と花にあふれる自然と調和がとれたまちなみが整っている					H28	第 31 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	16.7%	44.4%	28.7%	10.3%		

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	パートナーシップ花いっぱい事業 (H28～H29：継続)	S47～	市民・事業者・行政がパートナーシップのもと、緑と花のまちづくりを推進するため、市民の緑化意識の啓発並びに緑化活動への支援を行いました。 また、合浦公園の魅力づくりとして平成28年度は池の端にアジサイを補植し、平成29年度は藤棚の樹勢回復を行いました。 主な実績として、緑化活動団体の累積数は平成28年度が870団体、平成29年度は948団体となっています。
2	都市公園安全・安心対策事業 (H28～H29：継続)	H21～	公園施設の計画的な維持管理の方針と長寿命化対策を定め、公園施設の安全性の確保を図りつつ維持管理予算の縮減を図ることを目的に策定した「青森市公園施設長寿命化計画」に基づき、老朽化した公園施設の改築更新を行いました。 公園施設の改築更新の実績としては、平成28年度は、6公園において15施設、平成29年度は、8公園において18施設となっています。
3			
4			

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

「緑と花にあふれたまちなみの形成」「美しい都市景観づくり」については、市民の緑化意識の啓発や地域住民による自主的な緑化活動を支援するとともに、青森市景観審議会において市が行う公共事業に係る審議を行い、本市の景観形成の先導的役割を果たすことなどにより、目標とする指標の実績は概ね順調に推移しています。

「公園・緑地の充実」については、市民が安全で安心して公園を利用できるよう、老朽化した遊具などの公園施設を計画的に改築更新するとともに、地元の町会や公園愛護会等と連携を図りながら適切な維持管理を行っています。

【今後の課題】

市民・事業者・行政が一体となって今後も良好な景観づくりを推進する必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

1. 施策の基本情報

施策番号	6 - 3 - 1	施策名	良好な住まいづくりの促進				
施策の現状と課題	住宅施策については、本市の豊かな自然環境と共生し、雪や災害に強く、また、高齢者世帯や障がい者世帯、子育て世帯などに配慮した安全で快適な住まいづくりを促進する必要があります。 住宅に関する支援制度の普及啓発、空き家をはじめとする既存住宅ストックの有効活用について取り組んでいくなど、住宅の質的向上に努める必要があります。						
施策の概要	気候・風土に適した安全で質の高い住宅ストックの形成や、多様な居住ニーズに対応できる環境づくりを進めます。 《多様な居住ニーズへの対応》《良好な居住環境の整備》						
目標とする指標		基準値	実績値				傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32
① まちなか居住誘導地区人口の割合 〔まちなか居住を誘導する地区の居住人口の割合〕 (単位：％) (指標の方向：＋)	目標値	5.71	5.86	6.05	6.20	6.35	6.50
	指標値	5.71	5.69	5.61	**	**	**
	達成率	/	97.1%	92.7%	**	**	**
	達成度※	基準値よりやや下回っています。					
	進捗状況	C					
② 住宅に対する満足度 〔現在住んでいる住宅について、満足している市民の割合〕 (単位：％) (指標の方向：＋)	目標値	68.2	68.9	69.5	70.2	70.8	71.5
	指標値	68.2	71.1	—	**	**	**
	達成率	/	103.2%	—	**	**	**
	達成度※	基準値より増加し概ね目標とおりとなっています。また、基礎データとなる調査の内容が平成29年度から変更となったため平成29年度は実績なしとなっています。					
	進捗状況	A					
③	目標値						
	指標値						
	達成率	/					
	達成度※						
	進捗状況						
④	目標値						
	指標値						
	達成率	/					
	達成度※						
	進捗状況						
市民意識調査	満足度調査			ニーズ度調査			
	項目内容	市民の居住ニーズに応じ、市営住宅の計画的な整備や管理とともにまちなかや郊外などへの円滑な住み替えや、長期優良住宅などの普及・促進による、雪や災害にも強い住まいづくりがなされ、良好な居住環境（住宅）が整備されている				H28	第 11 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答		
	年度	H28	7.9%	35.3%	38.1%		

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	まちなか住み替え支援事業 (H28～29：継続)	H19～	少子高齢化・人口減少が進むなか、まちなか居住の推進を図るため、住み替えに関する情報提供、相談等のための窓口の設置のほか、関連団体等と連携し、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居の推進や、高齢者等の転居等に伴い発生する空き家等の適正管理及び有効活用についての取組を促進しました。
2	小柳第一団地建替事業 (H28～29：継続)	H20～	建物の老朽化が著しく、居住水準の低い市営住宅小柳第一団地について、良好な居住環境を備えた市営住宅とするため、建替えを行っています。 小柳第一団地は、平成26年度から平成35年度末までに5棟を建替えにより整備することとしており、平成28年度は、竣工した1棟目の駐車場整備及び平成30年度竣工予定の2棟目に着手しました。平成29年度は3棟目の建替え・整備を行うにあたっての必要な設計業務を実施しました。
3	建築指導・相談事務 (H28～29：継続)	S43～	建築基準法に基づき建築物を建築する前に確認申請又は許可申請等を建築主事又は特定行政庁に行い、確認・届出・許可や認定を受けてから着工する必要があります。この申請が建築基準関係規定に適合しているかを審査しているほか、事前に窓口や電話等で相談又は指導を行っています。主な実績として、平成28年度は検査済証発行実績329件、平成29年度は検査済証発行実績289件となっています。
4	住宅関連計画推進事業 (H28～29：継続)	H19～	市民の住生活の安定の確保及び向上の促進を図ることを目的に「第2期青森市住生活基本計画」を策定しました。

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

「多様な居住ニーズへの対応」「良好な居住環境の整備」については、だれもが安心して暮らせる居住の安定の確保やまちなか居住を促進する考えのもと、「まちなか住み替え支援事業」等を行いました。後期計画期間における住み替え支援制度の活用実績が無かったこと、「古川一丁目12番地区優良建築物等整備事業」による集合住宅供給が平成29年度下期にずれ込んだことなどから、施策の指標である「まちなか居住誘導地区の人口の割合」は目標達成できなかったものの、「住宅に対する満足度」は順調に推移しています。

【今後の課題】

住宅に関する支援制度の普及啓発、空き家をはじめとする既存住宅ストックの有効活用について取り組んでいくなど、住宅の質的向上に努める必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

1. 施策の基本情報

施策番号		6 - 4 - 1	施策名		広域交通網の充実			
施策の現状と課題		広域交通の要衝としてのさらなる機能の発揮に向け、北海道新幹線開業を契機とした鉄道網の充実や、青森空港を有することによる利便性や優位性を十分に活用していくとともに、クルーズ客船の寄港や北海道との物流を支える重要な拠点港としての役割、さらには災害時の緊急物資輸送拠点としての役割を果たす青森港における港湾機能の充実を図る必要があります。						
施策の概要		新幹線、高速道路などの高速交通網をはじめ、鉄道、空港、港湾それぞれの機能充実と連携強化を進めます。 《鉄道網の整備促進》《空港の利活用の促進》《港湾機能の充実》《高速道路などの建設促進》 《交通拠点間のネットワークの充実》						
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H26	H28	H29	H30	H31	H32	
① 観光入込数 (県外客数)	目標値	2,285	2,285	2,301	2,316	2,330	2,345	
	指標値	2,285	2,712	-	**	**	**	
	達成率	/	118.7%	-	**	**	**	
	達成度※	実績値は増加し、目標値も上回っています。						
(単位：千人) (指標の方向：+)	A	進捗状況						
② 青森港航路の便数	目標値	5,552	5,586	5,603	5,620	5,640	5,660	
	指標値	5,552	5,645	-	**	**	**	
	達成率	/	101.1%	-	**	**	**	
	達成度※	実績値は増加し、目標値も上回っています。						
(単位：便) (指標の方向：+)	A	進捗状況						
③ 広域交通の利用しやすさに対する満足度	目標値	15.4	16.2	17.3	18.4	19.5	20.6	
	指標値 H27	15.4	17.8	-	**	**	**	
	達成率	/	109.9%	-	**	**	**	
	達成度※	実績値は増加し、目標値も上回っています。						
(単位：%) (指標の方向：+)	A	進捗状況						
④	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※	進捗状況						
(単位：) (指標の方向：)								
市民意識調査	満足度調査				ニーズ度調査			
	項目内容	鉄道、高速道路、空港、港が整備され、それらの連携により、広域交通を利用しやすい				H28	第 17 / 75 位	
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度							
H28	17.8%	37.6%	36.3%	8.4%				

※ 「目標とする指標」における達成度
 A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	新幹線鉄道建設促進事業 （負担金） （H28～H29：継続）	H13～	東北・北海道新幹線の建設に係る費用の一部を負担しました。 その結果として、平成22年に東北新幹線新青森駅が開業、平成28年に北海道新幹線新青森駅・新函館北斗駅間が開業しました。
2	青森空港振興・国際化事業 （負担金） （H28～H29：継続）	S55～	青森空港発着の国内、国際定期便の利便性向上と利用促進を図るため、関係機関で組織する青森空港振興会議、青森空港国際化促進協議会に参画し、国内外路線のPRを行いました。 （実績 平成28年度：1,062,043人、平成29年度：1,160,427人）
3	青森港国際化推進事業 （負担金） （H28～H29：継続）	H12～	官民一体となって、観光・物流の両面から青森港の国際的な利用促進を図るための青森港国際化推進協議会へ参画し、青森港のポートセールスやクルーズ船等歓迎行事を行いました。 （実績 平成28年度：21回、28,774人、平成29年度：22回、26,864人）
4	港湾整備事業（国直轄事業負担金） （H28～H29：継続）	S42～	港湾施設の整備・拡充により、青森港の物資流通等の一層の拠点化を図るため、国が行う港湾整備費の一部を負担しました。主な実績として、緊急物資輸送船と一般貨物船（フェリー）の2隻同時着岸が可能となるように防災機能の強化を図るとともに、大型旅客船も着岸可能となるよう新中央埠頭の岸壁を80メートル延伸しました。

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

北海道新幹線開業を契機とした鉄道網の充実や、青森空港を有することなどによる利便性や優位性により、施策の目標とする指標「観光入込客数」（県外客数）は増加しています。

また、青森港のポートセールスや歓迎催事の実施により青森港へのクルーズ客船の寄港実績が増加するなど、「青森港航路の便数」も増加し、目標値を上回っています。

これらのことから、施策の目標とする指標である「広域交通の利用しやすさに対する満足度」の実績値も増加し、目標値を上回っています。

【今後の課題】

広域交通の要衝としてのさらなる機能の発揮に向け、新幹線、高速道路などの高速交通網をはじめ、鉄道、空港、港湾それぞれの機能充実と連携強化を進めます。

4. 今後踏まえるべき環境変化

青森空港旅客ターミナルビルリニューアル増改修工事（平成30年度末）

新中央埠頭・クルーズ船旅客ターミナルの整備（平成30年度末）

クルーズ船の大型化への対応

1. 施策の基本情報

施策番号	6 - 4 - 2	施策名	都市内公共交通の充実							
施策の現状と課題	都市内公共交通については、人口減少・少子高齢社会や低炭素社会などの課題に対応し、雪に強く、自家用自動車に過度に依存しない、人と環境にやさしい総合的な交通体系の実現に向けて、誰もが円滑に移動可能な公共交通ネットワークの構築を図る必要があります。									
施策の概要	鉄道と路線バスの利便性向上や連携強化などを通じ、中心市街地地区をはじめとする都市拠点、駅などの交通拠点、日常生活拠点を円滑に移動することができる環境づくりを進めます。 《公共交通ネットワークの構築》《利便性の高い公共交通ネットワーク環境の整備》《拠点間の相互連携》									
目標とする指標		基準値	実績値					傾向		
		H27	H28	H29	H30	H31	H32			
① 公共交通力パー率 〔青森市内において公共交通が利用できる地域の人口割合〕 (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	95.8	-	-	-	-	-			
	指標値	95.8	-	-	**	**	**			
	達成率	/	-	-	**	**	**			
	進捗状況	目標値は未設定であり、実績値はありません。								
達成度※	A									
② 公共交通に関する満足度 〔通勤・通学・買い物など身近な交通の便が整っていると思う市民の割合〕 (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	15.9	16.5	17.0	17.5	18.0	18.0			
	指標値	15.9	16.5	-	**	**	**			
	達成率	/	100.0%	-	**	**	**			
	進捗状況	実績値は増加し、目標値に達しています。								
達成度※	A									
③ (単位：) (指標の方向：)	目標値									
	指標値									
	達成率	/								
	進捗状況									
達成度※										
④ (単位：) (指標の方向：)	目標値									
	指標値									
	達成率	/								
	進捗状況									
達成度※										
市民意識調査	満足度調査					ニーズ度調査		H28	第 2 / 75 位	
	項目内容	鉄道や路線バスが利用しやすく、通勤・通学・買い物など身近な交通の便が整っている								
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答					
	年度	H28	16.5%	34.2%	43.0%	6.3%				

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	公共交通円滑化促進事業 (H28～H29：継続)	H21～	観光客等の利便性確保に向け、新青森駅と青森駅などの交通拠点や主な観光施設を結ぶ二次交通として、青森市シャトル・ルートバス（ねぶたん号）を運行しました。 (実績 平成28年度：52,003人、平成29年度：49,920人)
2	バス路線再編事業 (H28～H29：継続)	H21～	バス利用可能圏域を維持しつつ、持続可能なバス交通としていくため、バス路線再編や運営方法の見直しを地域住民と共に検討し、これまでに、孫内線、岡町線、矢田・滝沢線、浪岡線（空港経由）、高田線、入内線、大柳辺線、青い森病院線、青柳線、浪岡線（大釈迦経由）の10路線を対象に市民バスを運行しました。 (実績 平成28年度：256,081人、平成29年度：263,426人)
3	浪岡地区コミュニティバス運行事業 (H28～H29：継続)	H21～	浪岡地区内における公共交通の利便性を確保するため、コミュニティバスを運行しました。また、地区内公共交通のあり方を継続的に検討しました。 (実績 平成28年度：15,609人、平成29年度：13,330人)
4			

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

青い森鉄道筒井駅の開業や市民バスの運行などによって、施策の目標とする指標である「公共交通に関する満足度」の実績値は増加し目標値に達しています。

【今後の課題】

人口減少・超高齢化社会の進展や都市構造の変化に対応し、将来にわたって公共交通ネットワークを持続させる必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

1. 施策の基本情報

施策番号	6 - 4 - 3	施策名	快適な道路環境の確保					
施策の現状と課題	道路の整備については、計画的に整備を進めるとともに、積雪時の歩行空間の確保はもとより、年間を通じて誰もが安全で快適に移動できる道路交通環境の確保を図る必要があります。							
施策の概要	道路の機能充実を進めます。 《計画的な整備》《計画的な管理》《安全な通行の確保》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 都市計画道路整備率 〔都市計画道路が整備されている割合〕 (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	67.3	67.4	67.5	67.6	67.6	67.6	
	指標値	67.3	67.2	67.3	**	**	**	
	達成率	/	99.7%	99.7%	**	**	**	
	進捗状況	概ね目標値どおりとなっています。						
達成度※	B							
② 道路環境に関する満足度 〔安全で快適に移動できる道路が整っていると思う市民の割合〕 (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	14.5	15.1	15.7	16.3	16.9	17.5	
	指標値	14.5	14.3	-	**	**	**	
	達成率	/	94.7%	-	**	**	**	
	進捗状況	概ね目標値どおりとなっています。基礎データとなる調査の内容がH29から変更となったため、H29は実績なしとなっています。						
達成度※	B							
③	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
達成度※								
④	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
達成度※								
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	計画的な道路の整備と管理により、安全で快適に移動できる道路が整っている					H28	第 9 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	14.3%	43.9%	34.0%	7.7%		

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	3・2・2号内環状線（浜田） 街路整備事業 （H28～H29：継続）	H15～	周辺交通の円滑化を図り、歩行者・自転車等の安全を確保するため、都市計画道路3・5・4号堤町通り浜田線（主要地方道青森浪岡線）から3・3・6号十和田通り線（国道103号）浜田小学校付近までの620mの区間を整備しています。
2	橋梁長寿命化修繕事業 （H28～H29：継続）	H26～	橋梁等の老朽化が社会問題化していることに伴い、平成25年度に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋梁の補修・架け替え工事を実施しています。
3	くらしの道道路整備事業 （H28～H29：継続）	H26～	道路空間の有効活用による交通環境の向上を図るため、側溝の機能回復や電線管理者による電柱等の片側集約再配置などを実施しています。
4			

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

道路の《計画的な整備》については、平成29年度で3・4・3号蜷貝八重田線（筒井工区）が完成した他、都市計画道路3・2・2号内環状線（浜田、桑原工区）など、県と連携を図りながら計画的に道路環境整備を進めており、「都市計画道路整備率」は概ね目標どおりとなっています。

《計画的な管理》と《安全な通行の確保》については、橋梁長寿命化修繕事業やくらしの道道路整備事業等により計画的に補修・整備を進めています。

【今後の課題】

計画的に道路整備を進めるとともに、積雪時の歩行空間の確保はもとより、年間を通じて誰もが安全で快適に移動できる道路交通環境の確保を図る必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

【行政分野】

防災・雪対策

【後期基本計画における施策数】 3

5-3-1 防災力・消防力の総合的な強化

5-3-2 災害防止対策の推進

6-3-2 雪対策の推進

1. 施策の基本情報

施策番号		5 - 3 - 1	施策名		防災力・消防力の総合的な強化				
施策の現状と課題		多様化が進む危機事案に的確に対応するため、災害時における関係機関などとの連携強化、資機材の充実や消防・救助技術の向上などにより、防災力を強化する必要があります。特に、地域における初期活動は重要であり、地域防災の主力である消防団などの地域防災の担い手を確保し、訓練機会や資機材などの充実を図る必要があります。また、災害時には地域の避難場所などとして機能する、都市公園などのオープンスペースを確保する必要があります。東日本大震災を踏まえ、地域における地震・津波に対する防災対策の強化を図るとともに、国、県と連携し、大規模自然災害などに備えた市全域にわたる強靱なまちづくりを推進する必要があります。							
施策の概要		市域全体の総合的な防災力・消防力の強化を図るとともに、地域が一体となった防災力・消防力を高め、迅速かつ的確な防災・危機管理体制の構築を進めます。 《防災力・消防力の強化》《地域の防災力・消防力の強化》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向	
		H27	H28	H29	H30	H31	H32		
① 防災研修や訓練への参加者数 (防災に係る研修会や防災訓練への参加者数) (単位：人) (指標の方向：+)	目標値	43,233	43,300	43,300	43,300	43,300	43,300		
	指標値	43,233	40,207	-	**	**	**		
	達成率	/	92.9%	-	**	**	**		
	達成度※	H28年度は目標値に達成することはできませんでした。							
	進捗状況	B							
② 消防団員数 (地域における消防団員数) (単位：人) (指標の方向：+)	目標値	1,829	1,833	1,843	1,853	1,863	1,873		
	指標値	1,829	1,805	1,755	**	**	**		
	達成率	/	98.5%	95.2%	**	**	**		
	達成度※	消防団員数は減少傾向にあり、目標達成には遅れが生じています。							
	進捗状況	D							
③ 自主防災組織結成率 (自主防災組織がカバーしている世帯の割合) (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	42.2	50.0	56.0	62.0	68.0	74.0		
	指標値	42.2	45.8	48.8	**	**	**		
	達成率	/	91.6%	87.1%	**	**	**		
	達成度※	指標は毎年上昇しているものの、目標の達成は困難な状況にあります。							
	進捗状況	D							
④ (単位：) (指標の方向：)	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	達成度※								
	進捗状況								
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査		
	項目内容	団体、事業者、行政が一体となった効果的な防災体制づくりが進むとともに、地域での自主防災組織をはじめとする多様な主体の連携強化が図られている						H28	第 62 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答				
年度	H28	14.0%	49.1%	10.5%	26.5%				

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	防災拠点機能整備事業	H13～	H28年度には、災害時に無料で通話可能な特設公衆電話回線の事前設置工事を市内63箇所の防災活動拠点施設及びバックアップ施設に設置したほか、平成27年度に調査が完了した青森市災害被害想定調査結果を反映させ、追加配備が必要な備蓄物資についても、消費期限到来に伴う更新に合わせ配備を進めました。また、H29年度には、物資の追加配備に伴い収容場所が不足する施設に対し、防災倉庫を新規に設置しました。
2	避難所整備事業	S62～	災害の発生に備え、市民の生命及び身体を保護するため、災害時における指定避難所、津波避難ビルとしての施設使用について、民間施設等とも応援協定を締結するなど、災害時の避難施設の拡充により防災体制の充実を図りました。 このほか、災害時の迅速かつ安全な避難誘導を行うため、避難所に整備している老朽化した市街地表示式避難地案内板を避難所標識板に順次更新し、腐食した枠についても順次取替え補修したほか、沿岸部の市有施設と郵便局舎に海拔表示板を設置しました。
3	防災訓練事業	H7～	防災体制の強化と地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的に、防災関係機関・団体と地域住民の参加・連携のもと、災害の予防、応急対策等の防災活動が迅速、的確かつ総合的に実施できるよう、青森地区と浪岡地区のそれぞれに合わせた災害を想定して、総合防災訓練を実施しました。
4	自主防災活動促進事業	H13～	市民の防災意識の高揚や地域における効果的な防災活動の実施を目指し、自主防災組織の結成・育成に取り組みました。 平成28年度は17町（内）会、平成29年度は、9町会が新たに自主防災組織を結成し、本市における自主防災組織結成町会数は184町（内）会となりました。

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

高校・大学等への消防団加入促進のための出前講座や、各広報媒体への団員募集記事の掲載、出初式などの行事を通じたPR活動の展開を行っているものの、消防団員数の目標達成には至っていません。

地域防災の主力となる自主防災組織結成率は年々増加していますが、目標には至っていません。

【今後の課題】

自主防災組織結成率を引き続き増加させる必要があります。

消防団員の確保が必要です。

4. 今後踏まえるべき環境変化

1. 施策の基本情報

施策番号		5 - 3 - 2		施策名	災害防止対策の推進				
施策の現状と課題		河川の氾濫や浸水被害、津波被害、斜面の崩壊、近年発生が増加傾向にあるいわゆるゲリラ豪雨などの自然災害から市民を守るため、雨水排水施設を含む都市基盤の安全性を高める改修や整備を推進していく必要があります。災害時における地域の避難場所に加え、多くの避難者が適切に避難場所へ避難するための安全な避難経路の確保や円滑な防災活動の確保などに向けた道路整備を図る必要があります。災害時における建築物の被害を防止するための改修を促進するなど、災害に強い都市基盤の整備を進める必要があります。							
施策の概要		災害を防ぎ、災害に強い都市基盤整備を進めます。 《災害に強い都市基盤の整備》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向	
		H27	H28	H29	H30	H31	H32		
① 下水道の幹線整備による都市浸水対策達成率 (下水道事業における幹線整備による都市浸水対策の達成率) (単位：％) (指標の方向：＋)	目標値	57.1	57.1	57.1	57.1	58.2	58.2		
	指標値	57.1	57.1	57.1	**	**	**		
	達成率	/	100.0%	100.0%	**	**	**		
	達成度※ 進捗状況	浸水被害の軽減に資するための雨水対策について計画的な整備を進めており、富田ポンプ場供用開始に向けて順調に推移しています。							
② 河川改修の整備率 (市の事業による、沼川、牛館川、貴船川、飛鳥川、大辺田貝川の河川改修の整備率) (単位：％) (指標の方向：＋)	目標値	20.1	20.5	20.5	20.6	20.6	20.7		
	指標値	20.1	20.4	20.4	**	**	**		
	達成率	/	99.3%	99.6%	**	**	**		
	達成度※ 進捗状況	県と協議のうえ、計画的な河川改修を進めていることから、実績値は概ね順調に推移しています。							
③ 災害対策に対する満足度 (自然災害の被害を最小限に抑えるための対策が行われていると思う市民の割合) (単位：％) (指標の方向：＋)	目標値	10.3	18.0	21.0	24.0	27.0	30.0		
	指標値	10.3	8.9	-	**	**	**		
	達成率	/	49.4%	-	**	**	**		
	達成度※ 進捗状況	近年、全国的に発生している大規模災害を背景に、市民の防災意識の高揚により、満足度が減少したものと考えられます。							
④ (単位：) (指標の方向：)	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	達成度※ 進捗状況								
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査		
	項目内容	自然災害の被害を最小限に抑えるための対策が行われている						H28	第 30 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答				
	年度								
H28	8.9%	41.2%	16.5%	33.5%					

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	公共下水道雨水対策施設整備事業 (H28～H29：継続)	S27～	近年、集中豪雨による浸水被害が発生している状況にある中、市街地などの被害が大きい地区の浸水被害の軽減を図るため、公共下水道による雨水対策施設の整備を行っています。 現在は、富田地区の整備を行っており、平成31年度の富田ポンプ場供用開始に向けて、平成28年度にはポンプ場の建築工事、平成29年度にはポンプ場設備工事及びポンプ場から沖館川への放流渠整備工事を行いました。
2	貴船川河川改修事業 (H28～H29：継続)	H16～	洪水等による災害の防止や河川環境の整備保全を目的に、二級河川である貴船川の改修に取り組みました。 主な事業実績としては、河川景観に配慮したコンクリートブロック護岸を約40メートル築造し、河川の幅を約20メートルから約40メートルに拡幅しました。
3	水路護岸整備事業 (H28～H29：継続)	S30～	地域住民の生活環境を改善するため、排水路が未整備で、水害が発生したり、水の流れが悪く雑草が繁茂するなど生活環境の改善が必要な地域について、排水路の整備を行いました。 主な事業実績としては、平成28年度は約640メートル、平成29年度は約797メートルの排水路整備を行いました。
4			

3. 施策の総合評価と今後の課題

<p>【総合評価】 これまでの公共下水道雨水対策施設や河川及び水路などの整備事業で災害防止対策を行った結果、平成24年度は22件あった道路冠水が平成29年度には7件となっており、気象状況による影響はあるものの、災害発生件数は減少しております。</p> <p>【今後の課題】 全国的に記録的な大雨による災害被害が発生していることや、本市においても豪雨の際には依然として、災害被害が発生していることから、今後も引き続き、災害に強い都市基盤の整備に向け、計画的な施設整備を進める必要があります。</p>
--

4. 今後踏まえるべき環境変化

--

1. 施策の基本情報

施策番号	6 - 3 - 2	施策名	雪対策の推進					
施策の現状と課題	人口減少社会を見据えた持続可能な除排雪体制の確保、まちづくりを含む総合的な視点に立った雪対策の推進が求められています。 冬期間における安全で快適な市民生活や円滑な経済活動を確保するための対策の充実を図るとともに、利雪・親雪のさまざまな取組を促進する必要があります。							
施策の概要	市民・事業者・行政の協働によって、より効果的・効率的な雪対策を推進するとともに、雪を貴重な地域資源として、さまざまな分野において有効活用を進めます。 《利雪・親雪の推進》《効率的な除排雪の推進》《市民、事業者及び行政の連携による雪処理の推進》							
目標とする指標	基準値	実績値					傾向	
	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
① 流・融雪溝の整備（供用）延長 （地域の自主的な雪処理施設の整備（供用）延長） 達成度※ （単位：m） （指標の方向：+） A	目標値	64,368	64,760	65,530	66,241	66,962	68,437	
	指標値	64,368	65,950	65,950	**	**	**	
	達成率	/	101.8%	100.6%	**	**	**	
	進捗状況	基準値より増加し目標を上回っています。						
② 自主的な雪処理施設の整備に対する満足度 （自主的な雪処理を進めるための施設（流・融雪溝など）が整備されていると思う市民の割合） 達成度※ （単位：%） （指標の方向：+） A	目標値	9.6	9.6	9.6	9.8	9.8	10.0	
	指標値	9.6	13.2	-	**	**	**	
	達成率	/	137.5%	-	**	**	**	
	進捗状況	基準値より増加し目標を上回っています。また、基礎データとなる調査の内容が平成29年度から変更となったため平成29年度は実績なしとなっています。						
③ 達成度※ （単位：） （指標の方向：）	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
④ 達成度※ （単位：） （指標の方向：）	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	進捗状況							
市民意識調査	満足度調査					ニーズ度調査		
	項目内容	効率的な除排雪作業や融雪歩道などの整備が進み、また、雪の特性を活用したより良い暮らしのための取組が行われている					H28	第 1 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	10.9%	19.4%	64.3%	5.4%		

※ 「目標とする指標」における達成度
 A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	流雪溝整備事業 (H28～H29：継続)	H12～	冬期間における市街地内の快適な道路環境を確保するため、流・融雪溝の整備を進めています。 主な実績として、青森地区では平成26年度から佃地区の整備を行っており、浪岡地区では、平成28年度に吉野田地区の整備が完了しました。
2	冬期歩行者空間確保貸与 除雪機整備事業（購入・ 管理） (H28～H29：継続)	H3～	市民と行政のパートナーシップにより、快適な冬期歩行者空間の確保を進めるため、地域で自主的な除排雪の実施を希望する団体に対して、小型除雪機を無償で貸し出しました。 主な実績として、利用団体が平成28年度は49団体、平成29年度は49団体となっています。
3	雪に関する市民相談窓口 事業 (H28～H29：継続)	H17～	雪に関する市民サービスの向上を図るため、市民からの雪処理や各種雪対策に関する様々な相談等を一括して受け付ける窓口を開設しました。 主な実績として、相談受付件数が平成28年度は2,874件、平成29年度は7,255件となっています。
4	除排雪対策事業 (H28～H29：継続)		冬期間における安全で円滑な道路交通を確保するため、機械除排雪を中心に市内道路・歩道の除排雪を行うとともに、交差点・橋梁等への凍結防止剤の散布を実施しました。 主な実績として、平均除雪出動回数が平成28年度は、全面委託工区（青森地区）が5.7回、幹線（青森地区）が7.0回、補助幹線（青森地区）が5.8回、浪岡地区が18.0回、大釈迦地区が29.0回、細野地区が35.0回、平成29年度は、全面委託工区が7.8回、幹線が11.2回、補助幹線が7.9回、浪岡地区が22.0回、大釈迦地区が43.0回、細野地区が40.0回となっています。

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

「利雪・親雪の推進」については、地域の将来を担う子ども達を対象に「雪学習教室」の開催などに取り組んでおり、「効率的な除排雪の推進」については、除排雪事業者、地域等との連携のもと、丁寧な除排雪を実施しています。

「市民、事業者及び行政の連携による雪処理の推進」については、市民・地域が自主的に雪処理できる流・融雪溝の整備を計画的に進めるとともに、歩行者空間確保のための小型除雪機の貸与などの取組により、目標とする指標の実績値は目標値を上回っています。

【今後の課題】

除排雪事業者、地域等と連携のもと、効率的・効果的な雪対策を推進する必要があります。

市民の雪処理へのニーズの多様化や、高齢者世帯の増加に伴い、共助の仕組みによる雪対策の充実が求められています。

4. 今後踏まえるべき環境変化

【行政分野】

環境

【後期基本計画における施策数】 6

- 5-1-1 自然保護活動の推進
- 5-1-2 ごみの減量化・リサイクルの強化
- 5-1-3 再生可能エネルギーの導入・省エネ活動の促進
- 5-2-1 適正な污水排除・処理の確保
- 5-2-2 公害対策の推進
- 5-2-3 適正な廃棄物処理の確保

1. 施策の基本情報

施策番号	5 - 1 - 1	施策名	自然保護活動の推進					
施策の現状と課題	自然環境は、人が暮らしていくための重要な基盤であり、本市における自然の豊かさは、私たちのまちが住みやすいまちであるための大切な要素となっており、豊かで美しい自然環境を守り、さまざまな恵みを楽しみ続けることに対する意識の醸成・高揚を図るとともに、将来世代に引き継いでいく必要があります。							
施策の概要	自然保護意識を醸成し、自然環境を守り育てる活動の充実を図り、森と水の循環の確保や自然資源の持続可能な利用を進めます。 《自然保護意識の醸成》《自然保護活動の充実》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 森林公園利用者数 〔1年間に森林公園を利用した市民の人数〕 (単位：人) (指標の方向：+)	目標値	21,799	23,640	25,480	27,320	29,160	31,000	
	指標値	21,799	20,029	21,318	**	**	**	
	達成率	/	84.7%	83.7%	**	**	**	
	達成度※ 進捗状況	指標値は目標値に達しておらず、横ばい傾向にあります。						
② 自然保護活動に参加したことがある市民の割合 〔ごみ拾いや植林活動などの自然保護活動に参加したことがある市民の割合〕 (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	41.1	41.9	42.7	43.4	44.2	45.0	
	指標値	41.1	37.6	23.9	**	**	**	
	達成率	/	89.7%	56.0%	**	**	**	
	達成度※ 進捗状況	指標値は目標値に対し、年々減少傾向にあります。						
③ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※ 進捗状況							
④ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※ 進捗状況							
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	自然保護の意識が高まり、水道水源の保全、山や河川などへのごみの放置の注意など、市民や関係団体と連携した自然保護活動が進んでいる					H28	第 45 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	14.9%	45.5%	20.9%	18.8%		

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	むつ湾環境保全促進事業 (H28：新規) (H29：拡充)	H28～	陸奥湾の良好な水質環境を将来にわたって継続、保全していくためには、海川の清掃のみならず、植林なども含め、森里川海での一体的な活動が必要であり、市民の環境保全に対する意識向上のため、平成28年度に毎年6月1日から6月21日を「むつ湾週間」とするとともに、初日である6月1日に「むつ湾週間フォーラム」を開催しました。平成29年度は、陸奥湾の環境保全のためには、本市のみならず、沿岸の市町村と連携しながら取り組んでいく必要があることから、沿岸市町村長を招き、「むつ湾フォーラム」を開催しました。主な実績として、「むつ湾週間」中の清掃活動等参加者が平成28年度は約560名、平成29年度は約970名、フォーラム参加者は平成28年度、平成29年度ともに約100名でした。
2	八甲田地区自然環境保全事業（負担金） (H23～29：継続)	S45～	八甲田地区の美化と環境保護のため、関係機関と連携して同地区の各園地等の散乱ごみや事業系ごみの収集を実施しました。主な実績として、八甲田地区のごみ処理量が平成28年度は89トン、平成29年度は84トンとなっています。
3	森と湖に親しむ集い事業 (H23～29：継続)	H1～	次世代を担う小学生を対象にして、森や川の役割について関心を持ち、自然環境保護意識の醸成を図るため、ダム施設等の体験学習の機会を提供します。主な実績として、ダム見学・鯉の放流・植樹等の体験学習を実施し、平成28年度は95名、平成29年度は108名の小学生が参加しました。
4	鳥獣対策事業 (H23～25、H27、 H29：継続) (H26、H28：拡充)	H13～	自然鳥獣の乱獲を防止するとともに、クマ等の危険鳥獣による生命・財産等への被害を防止するため、鳥獣捕獲等許可や危険鳥獣対策に取り組みました。主な実績として、有害鳥獣捕獲等許可件数が平成28年度は20件、平成29年度は17件となっています。

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

自然保護意識の醸成を図りましたが、自然保護活動に参加したことがある市民の割合は年々減少傾向にあります。森林公園の適切な維持管理に努めましたが、利用者数は横ばい傾向にあります。

【今後の課題】

陸奥湾の水質環境を保全していくため、沿岸市町村や関係団体と連携した取組を強化していく必要があります。豊かで美しい自然環境を守り、将来世代に引き継いでいくため、市民の自然保護意識の醸成を図る必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

1. 施策の基本情報

施策番号		5 - 1 - 2	施策名		ごみの減量化・リサイクルの強化				
施策の現状と課題		本市におけるごみの排出量は、平成27年4月から供用開始した新清掃工場単独での処理能力を超過している状況にあり、ごみの減量化・資源化による排出量の削減が喫緊の課題となっています。 また、類似都市に比べて市民一人一日当たりのごみの排出量が多く、資源化率も低いため、この現状を広く周知することで、市民・事業者のごみに関する問題意識を喚起するほか、市民・事業者・行政が一体となった、ごみの減量化・資源化に向けた取組を進める必要があります。							
施策の概要		ごみの減量化・資源化に向けた市民・事業者・行政が一体となった活動を推進し、循環型・低炭素社会の形成を進めます。 《多様な主体が連携した3R活動の推進》《市民のごみ減量化・資源化対策の促進》《事業者のごみ減量化・資源化対策の促進》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向	
		H27	H28	H29	H30	H31	H32		
① 3Rを基本とした生活スタイルが浸透していると感じる市民の割合 (3Rの意識が浸透していると感じる市民の割合) (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	58.2	58.2	63.2	68.2	73.2	78.2		
	指標値	58.2	58.2	-	**	**	**		
	達成率	/	100.0%	-	**	**	**		
	達成度 [※] 進捗状況	目標に達しており、概ね順調に推移しております。							
② リサイクル率 (一般廃棄物の総排出量に占める資源化量の割合) (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	11.3	15.2	17.1	19.0	20.9	22.8		
	指標値	11.3	16.5	-	**	**	**		
	達成率	/	108.6%	-	**	**	**		
	達成度 [※] 進捗状況	目標に達しており、概ね順調に推移しております。							
③ 市民1人1日当たりのごみの排出量 (ごみの排出量を、市民1人1日当たりに換算した量) (単位：g) (指標の方向：-)	目標値	1,133	1,082	1,057	1,032	1,007	982		
	指標値	1,133	1,044	-	**	**	**		
	達成率	/	103.6%	-	**	**	**		
	達成度 [※] 進捗状況	目標に達しており、概ね順調に推移しております。							
④	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	達成度 [※] 進捗状況								
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査		
	項目内容	ごみ問題についての意識が高まり、解決に向けた3R（排出抑制・再利用・再資源化）活動が進んでいる						H28	第 18 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答				
	年度								
H28	26.4%	41.9%	23.8%	7.9%					

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	ごみ問題対策・市民啓発事業 (H23～29：継続)	S60～	<p>市民のごみに関する問題意識を喚起し、ごみ出しルールの遵守とマナー向上、ごみの減量化・資源化を図るため、清掃活動や出前講座、清掃施設見学などの市民啓発事業を実施しました。主な実績として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民一掃きデー H28：7回実施／910人参加 H29：7回実施／1,140人参加 ・おもてなしクリーンキャンペーン 参加人数H28:40人 H29：110人 ・市民会議総会 参加人数：H28町会長など132人 H29町会長など164人 ・その他、清掃施設見学会、ごみ出しルール講習会、もったいないを考える日等 ・各種ごみ減量化事業の実施
2	有価資源回収団体活動奨励事業 (H23～29：継続) (H27：拡充)	S58～	<p>市民のごみ減量化・資源化に向けた意識の高揚によるごみの減量化・資源化の促進、行政コストの削減などを図るため、資源ごみの集団回収を実施しました。市に届け出ている団体が集団回収を実施した場合、回収量に応じて奨励金を交付しています。集団回収により、ごみ減量化・資源化が促進されるほか、奨励金や回収業者への売却金は、地域の様々なコミュニティ活動に幅広く活用することができます。主な実績として、集団回収量が平成28年度は5,277トンとなっています。</p>
3	分別収集推進事業 (H23～29：継続)	H9～	<p>資源を有効に活用し、環境にやさしい循環型社会の構築を図るため、資源ごみを分別収集し、リサイクルするための中間処理を行いました。回収された資源物は、売却あるいは再商品化事業者へ引き渡し、限りある資源を有効に活用しました。主な実績として、資源ごみ収集量（家庭系）が平成28年度は7,450トンとなっています。</p>
4	生ごみリサイクル推進事業 (H23～29：継続)	H22～	<p>生ごみの減量化を通じて家庭から排出される可燃ごみを減らすため、生ごみ処理機購入費助成や段ボールコンポストのマニュアルを提供し、作製から進め方、堆肥化について実演と講義を行う講習会を開催しました。主な実績として、生ごみ処理機購入費助成金助成件数が平成28年度は34件、平成29年度は24件となっています。段ボールコンポスト講習会がH28年度全5回開催 受講者37名、H29年度全6回開催 受講者35名となっています。</p>

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】
《多様な主体が連携した3R活動の推進》、《市民のごみ減量化・資源化対策の促進》、《事業者のごみ減量化・資源化対策の促進》については、「出前講座等における市民啓発活動」、「段ボールコンポスト講習会の開催及び生ごみコンポスト容器購入者への一部助成等の実施」、「有価資源物の集団回収を行う団体への支援」、「その他のプラスチックの市内全域での分別収集の実施」など、ごみの減量化・資源化に向け取り組んだ結果、一定の成果を上げることができました。

【今後の課題】
全国と比較して1人1日当たりのごみ排出量は多く、リサイクル率は低いことから、ごみ減量化・資源化に向けた効果的な対策を推進する必要があります。
(1人1日当たりのごみ排出量 H28全国925g、青森市1,044g)
(リサイクル率 H28全国20.3%、青森市16.5%)
市民及び事業者のごみ減量化・資源化に向けた意識啓発強化を行う必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

--

1. 施策の基本情報

施策番号	5 - 1 - 3	施策名	再生可能エネルギーの導入・省エネ活動の促進					
施策の現状と課題	地球規模での温暖化対策や東日本大震災を契機とした原子力発電に依存しないエネルギー体制への転換が課題となっている中で、市民・事業者の省エネ意識を高め、化石燃料への依存度を低減させるとともに、地域に賦存する安全・安心な再生可能エネルギーを活用した地域分散型エネルギーの導入を図ることが求められています。							
施策の概要	再生可能エネルギーの導入やエネルギーの地産地消、省エネルギー活動などを推進し、循環型・低炭素社会の形成を進めます。 《情報提供の充実・啓発活動の推進》 《再生可能エネルギーの導入・エネルギーの地産地消と省エネルギーの促進》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 温室効果ガス排出量 〔市域における温室効果ガスの排出量〕 (単位：万t-CO2) (指標の方向：-)	目標値	330.6	278.1	265.0	251.6	238.7	225.6	
	指標値	-	-	-	**	**	**	
	達成率	/	-	-	**	**	**	
	進捗状況	青森市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定（H30.3）に伴い、過去の温室効果ガス排出量についても見直しを行ったため、基準値の数値が変わっており、定めている目標値とは比較が出来ません。						
② 住宅用太陽光発電システムの設備容量 〔新たに設置された住宅用太陽光発電システムの設備容量〕 (単位：kW) (指標の方向：+)	目標値	1,689.4	2,213.8	2,476.0	2,738.2	3,000.4	3,270.0	
	指標値	1,689.4	2,170.0	-	**	**	**	
	達成率	/	98.0%	-	**	**	**	
	進捗状況	概ね目標どおりとなっています。平成28年度末をもって基礎データとなる新・省エネルギー導入支援事業が終了したため、平成29年度からは実績なしとなっています。						
③ 省エネ行動に取り組んでいる市民の割合 〔普段の生活の中で、省エネ行動に取り組んでいる市民の割合〕 (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	88.7	91.0	93.2	95.5	97.7	100.0	
	指標値	88.7	87.3	-	**	**	**	
	達成率	/	95.9%	-	**	**	**	
	進捗状況	目標値を下回っていますが、基準値からほぼ横ばいで、高い割合で推移しています。基礎データとなる調査の内容が平成29年度から変更となったため、平成29年度は実績なしとなっています。						
④ 環境啓発関連イベントなどへの参加者数 〔市が主催する環境啓発関連イベントや講座などへの市民の参加者数〕 (単位：人) (指標の方向：+)	目標値	4,050	4,430	4,620	4,810	5,000	5,190	
	指標値	4,050	7,442	5,816	**	**	**	
	達成率	/	168.0%	125.9%	**	**	**	
	進捗状況	各年度で目標値を上回っています。平成28年度は参加者数の多いイベントに環境啓発ブースを出展したため実績値が特に高くなっています。						
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	省資源・省エネルギーの意識が高く、太陽光発電の普及など環境にやさしい再生可能エネルギーの利・活用が進んでいる					H28	第 52 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	11.1%	37.5%	25.3%	26.1%		

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	C02削減行動推進事業 (H23～29:継続)	H23～	市内において継続的に省エネ等のC02削減行動に取り組んでいる事業所や町会、学校等の団体に対し、その活動を表彰し広く市民にPRしました。主な実績として、平成28年度は7団体、平成29年度は6団体を表彰しました。 また、温暖化対策に資する、あらゆる「賢い選択」をしていこうという国民運動「COOL CHOICE」を踏まえた取組を広く市民・事業者へと紹介することにより、自発的な取組を定着させ、もってC02排出削減を図ることを目的として事業を実施しました。主な実績として、平成28年度はエコドライブ、平成29年度はウォームビズに焦点をあてた事業を実施しました。
2	協働による環境教育・環境学習推進事業 (H23～28:継続) (H29:拡充)	H23～	市民に向けた地球温暖化に関する学習機会の提供、地球温暖化への意識醸成に関する業務や地球温暖化防止活動推進員（エコサポーター）への研修等C02排出削減行動を推進する様々な業務を実施する青森市地球温暖化防止活動推進センター業務をNPO法人に委託し、協働で業務を実施しました。 主な実績として、平成28年度は環境学習等を35回開催し、7,442人、平成29年度は54回開催し、5,816人の市民参加がありました。
3	再生可能エネルギー導入推進事業 (H24:新規) (H25、27、28:拡充) (H26、29:継続)	H24～	市内における新エネルギーの導入促進を図るため、弘前大学北日本新エネルギー研究所（現：弘前大学地域戦略研究所新エネルギー研究部門）と連携し、新エネルギーの実用化技術（バイオマスエネルギー変換・利用技術）の研究・開発を行いました。また、平成28年度は事業を拡充し、県と連携しながら浅虫地区における温泉熱発電の可能性調査を行いました。 主な実績として、研究成果の報告会及び再生可能エネルギーの実用化に向けた関係者間の情報共有の場として産学官官ラウンドテーブルを平成28年度・平成29年度ともに1回開催しました。
4	新・省エネルギー導入支援事業（補助金） (H23、24、26、27:拡充) (H25、28:継続)	H21～H28	温室効果ガスの排出を抑制することを目的として、住宅に太陽光発電システム等の新エネルギー・省エネルギー設備を設置しようとする市民に設置費用の一部を補助していましたが、こうした設備への社会的認知が進み、普及促進という所期の目的は達成されたことから、平成28年度末をもって終了しました。 主な実績として、平成28年度の補助件数は、住宅用太陽光発電システム58件、木質ペレットストーブ3件、燃料電池コージェネレーションシステム16件、HEMS機器14件、地中熱利用設備3件となっています。

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

啓発活動等の実施により、温室効果ガス排出量は着実に減少しています。

（温室効果ガス排出量 H24…282.8万t-CO2 H27…261.1万t-CO2※青森市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）平成30年3月改定）

【今後の課題】

温室効果ガス排出量は着実に減少していますが、地球温暖化対策として、引き続き啓発活動等を行う必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

1. 施策の基本情報

施策番号	5 - 2 - 1	施策名	適正な污水排除・処理の確保					
施策の現状と課題	生活環境の改善や衛生水準を高めるため、污水処理施設の整備促進や、水洗化の普及啓発を進め、市民の健康と快適な生活環境を守る必要があります。							
施策の概要	污水処理施設の整備や水洗化率の向上など、污水処理に係る環境づくりを進め、快適な生活空間の確保を進めます。 《污水処理環境の整備》《水洗化率の向上》							
目標とする指標		基準値	実績値					傾向
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 污水処理人口普及率 〔污水処理施設を利用できる市民の割合〕 (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	85.6	86.8	87.2	87.7	88.1	88.6	
	指標値	85.6	85.9	-	**	**	**	
	達成率	/	99.0%	-	**	**	**	
	達成度 [※] 進捗状況	公共下水道整備を計画的に進めており、目標に掲げる指標の実績値は目標に近い値となっています。						
② 水洗化率 〔水洗化されている市民の割合〕 (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	74.5	76.3	77.2	78.1	79.0	79.9	
	指標値	74.5	75.5	-	**	**	**	
	達成率	/	99.0%	-	**	**	**	
	達成度 [※] 進捗状況	供用開始区域の公告や接続啓発活動等により、目標に掲げる指標の実績値は目標に近い値となっています。						
③ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度 [※] 進捗状況							
④ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度 [※] 進捗状況							
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	公共下水道等の効果的・効率的な整備と合併処理浄化槽の設置が進んでおり、污水の処理が適正に行われている					H28	第 53 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	20.2%	44.0%	14.8%	21.0%		

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	公共下水道汚水処理施設整備事業	S27～	「生活環境の改善」及び「公共用水域の水質保全」を図るため、公共下水道の整備及び改築を計画的に進めております。 （汚水管渠整備工事、ポンプ場改築工事、処理場改築工事 他） ◆管渠整備延長実績 平成28年度 1,870m
2	合併処理浄化槽設置促進事業	H3～	合併処理浄化槽設置費用の一部を助成し、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に努めております。（助成上限額 5人槽：352千円、6～7人槽：441千円、9～10人槽：588千円） ◆補助実績 平成28年度 青森地区23基、浪岡地区2基 計25基 平成29年度 青森地区21基、浪岡地区3基 計24基
3	水洗便所改造等式助成事業	S44～	下水道整備地区の住民が水洗便所に改造するための工事資金の融資あっせんを行い、当該融資に係る利子補給を行うことにより、改造工事の経済的負担を軽減し、水洗化促進を図っております。 ◆補助実績 平成28年度 件数20件、貸付金額8,910千円 平成29年度 件数13件、貸付金額6,040千円
4	未水洗化家屋啓発事業	H8～	水洗化促進のため、下水道整備地区における未水洗化家屋に対し、チラシ配布・個別訪問などを行い、下水道への接続を啓発するとともに、未水洗化の理由等を調査しております。 ◆未水洗化家屋訪問回数 平成28年度 1189戸 平成29年度 933戸

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

本市汚水処理施設整備構想に基づき、公共下水道等の計画的な整備を進めることにより汚水処理環境の整備に努め、汚水処理人口普及率の増加に寄与しております。

また、下水道の未接続家屋に対する接続の啓発活動や、下水道認可区域以外の地区における合併処理浄化槽設置費用の一部助成事業を進めることにより、水洗化率の指標の実績値は概ね目標に近い値となっております。

【今後の課題】

公共下水道等の整備は進んでいますが、既設の老朽管の対策が必要です。

下水道認可区域以外の地区においては、合併処理浄化槽の設置を促進する必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

1. 施策の基本情報

施策番号	5 - 2 - 2	施策名	公害対策の推進						
施策の現状と課題	公害については、関係法令及び公害防止条例に基づく規制、改善指導などによって全般的に改善されてきているものの、事業活動や市民生活に関連して発生する公害を未然に防止するため、市民や事業者などに対して自らが発生源とならないよう注意を促していく必要があります。								
施策の概要	身近な環境保全活動や公害監視体制の充実を通じ、快適な生活環境の確保を進めます。 《市民や事業者の意識啓発》《公害監視体制の充実》								
目標とする指標		基準値	実績値					傾向	
		H27	H28	H29	H30	H31	H32		
① 環境基準達成率 (騒音・大気・水質) (騒音・大気・水質各監視項目に係る環境基準の達成率) 達成度※ (単位：%) (指標の方向：+)	目標値	95.2	95.6	95.9	96.1	96.3	96.5		
	指標値	95.2	94.2	95.1	**	**	**		
	達成率	/	98.5%	99.2%	**	**	**		
	進捗状況	目標値に達していませんが、概ね順調に推移しています。							
② (単位：) (指標の方向：)	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	進捗状況								
③ (単位：) (指標の方向：)	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	進捗状況								
④ (単位：) (指標の方向：)	目標値								
	指標値								
	達成率	/							
	進捗状況								
市民意識調査	満足度調査					ニーズ度調査		H28 第 63 / 75 位	
	項目内容	騒音・振動・悪臭などの公害を発生させないための市民や事業者への意識啓発が進むとともに、公害の監視体制が充実している					H28		第 63 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答				
	年度	H28	12.2%	45.4%	15.3%	27.2%			

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	公害苦情処理事業 (H23～29：継続)	S40～	<p>快適な生活環境を確保するため、市民から寄せられた苦情相談に基づき、現地調査を行い、必要に応じ、騒音、悪臭等の測定を実施しました。測定結果を法令等の基準値と比較し、基準値超過時には、原因者に改善指導を行いました。</p> <p>主な実績として、公害苦情処理件数は平成28年度は71件、平成29年度は79件となっています。</p>
2	地盤沈下防止対策事業 (H23～29：継続)	S48～	<p>建築物への被害や満潮時の浸水被害ををもたらす地盤沈下を防止するため、冬期間における地下水の消雪利用禁止パトロールや揚水機設置立会いなどを実施したほか、平成28年度は青森地区103地点、浪岡地区6地点で地盤沈下観測水準測量（3年に1回）を実施しました。</p> <p>主な実績として、消雪利用禁止パトロールが平成28年度は延べ44箇所、平成29年度は延べ40箇所、地下水揚水機設置立会いが平成28、29年度はともに16基となっています。</p> <p>また、平成28年度の水準測量の結果、顕著な地盤の沈下は確認されませんでした。</p>
3	騒音・振動・水質調査等 公害監視事業 (H23～29：継続)	S46～	<p>快適な生活空間を確保するため、公共用水域の水質汚濁状況や大気汚染の状況、道路における騒音などの状況について監視を実施したほか、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、ダイオキシン類特別措置法に基づき、関係工場等への立入調査を実施しました。</p> <p>主な実績として、環境基準達成率は平成28年度は94.2%、29年度は95.1%となっています。</p>
4			

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

《市民や事業者の意識啓発》については、市民から寄せられた公害苦情相談に基づき、必要に応じて、騒音、悪臭等の測定を実施し、規制基準を超過した場合改善指導し、市民や事業者が発生源とならないよう意識啓発を図っています。

《公害監視体制の充実》については、関係法令、青森県公害防止条例、青森市公害防止条例に基づく規制により、自動車及び環境騒音の状況や河川及び海域の水質汚濁状況、大気環境の汚染状況に関する調査結果は概ね環境基準を達成しています。

地盤沈下については、青森市公害防止条例による地下水揚水規制により、年々鈍化し、現在では、顕著な沈下はほとんど認められていません。

【今後の課題】

環境基準は概ね達成していますが、依然として公害苦情はあることから引き続き対策を行う必要があります。

4. 今後踏まえるべき環境変化

1. 施策の基本情報

施策番号	5 - 2 - 3	施策名	適正な廃棄物処理の確保					
施策の現状と課題	大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会・経済活動や生活様式の多様化などを背景に、廃棄物の不適正処理による環境負荷の問題が顕在化している中、環境負荷の少ない社会を形成するため、市民や事業者・行政などが一体となり、一般廃棄物の適正処理を推進するほか、産業廃棄物について、排出事業者や処理事業者の遵法意識を高めることなどを通じ、適正処理を徹底させる必要があります。							
施策の概要	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正処理の確保を通じ、快適な生活環境の確保を進めます。 《一般廃棄物の適正処理の確保》《産業廃棄物の適正処理の確保》《その他の廃棄物などの適正保管・処理の確保》							
目標とする指標		基準値	実績値				傾向	
		H27	H28	H29	H30	H31	H32	
① 産業廃棄物処理施設などの適合率 (立入検査において、適正処理を確認できた産業廃棄物処理業者や事業用施設の割合) (単位：％) (指標の方向：＋)	目標値	71.0	78.0	79.0	81.0	82.0	84.0	
	指標値	71.0	95.7	95.7	**	**	**	
	達成率	/	122.6%	121.2%	**	**	**	
	達成度※	基準値より増加し、その後も概ね順調に推移しています。						
		A	進捗状況					
② 不法投棄などの発生件数 (一般廃棄物及び産業廃棄物などについて、新たに不法投棄や野焼きなどの不適正処理が確認された件数) (単位：件) (指標の方向：－)	目標値	80	80	74	69	63	59	
	指標値	80	118	140	**	**	**	
	達成率	/	67.8%	52.9%	**	**	**	
	達成度※	平成28年度から不法投棄の多発地帯のパトロールを強化したことにより、不法投棄の発見件数が増加しています。						
		C	進捗状況					
③ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※							
			進捗状況					
④ (単位：) (指標の方向：)	目標値							
	指標値							
	達成率	/						
	達成度※							
			進捗状況					
市民意識調査	満足度調査						ニーズ度調査	
	項目内容	ごみ処理体制の整備や排出事業者への意識啓発、処理業者への検査・指導などを行い、一般廃棄物や産業廃棄物の適正な処理を進め、市民からの通報などに対して適時適切に対応している					H28	第 59 / 75 位
	区分	満足・やや満足	普通	不満・やや不満	わからない・無回答			
	年度	H28	14.5%	44.2%	14.7%	26.6%		

※ 「目標とする指標」における達成度
A・・・順調 B・・・概ね順調 C・・・やや遅れ D・・・遅れ

2. 施策における主な事務事業と実績

	事務事業名	実施年度	事業（実績）内容
1	不法投棄防止対策事業（一般廃棄物） （H23～29：継続）	H17～	快適な生活空間の確保のため、現地調査や不法投棄現場の原状回復に向けた対応をはじめとした不法投棄の未然防止対策及び再発防止対策を実施しました。 平成28年度より不法投棄の多発地帯のパトロールを強化しました。 主な実績として、一般廃棄物の不法投棄の新規発生件数が平成28年度は116件、平成29年度は133件となっています。
2	産業廃棄物適正処理指導事業 （H23～29：継続）	H18～	廃棄物の適正な処理を確保するため、産業廃棄物処理業や廃棄物処理施設に係る許可申請への対応のほか、処理業者・排出事業者等への立入検査を実施しました。また、適正処理に関する説明会の開催やガイドブックの作成などを通じて、今後も普及啓発に取り組むこととしています。 主な実績として、産業廃棄物処理施設等の立入検査が、平成28年度は92件、平成29年度は94件となっています。
3	不法投棄防止対策事業（産業廃棄物） （H23～29：継続）	H18～	快適な生活空間の確保のため、現地調査や不法投棄現場の原状回復に向けた対応をはじめとした不法投棄の未然防止対策及び再発防止対策を実施しました。 主な実績として、産業廃棄物の不法投棄の新規発生件数が平成28年度は2件、平成29年度は7件となっています。
4	浪岡最終処分場廃止事業 （H23～32：継続）	H23～	昭和51年に廃棄物の搬入を停止した青森市浪岡不燃物埋め立て処分場について、埋立処分終了の届出及び処分場廃止の確認申請等の手続きが行われていなかったことから、平成26年2月に策定した「青森市浪岡不燃物埋め立て処分場廃止基本計画」に基づき適正に廃止します。 主な実績として、埋立基準を超過したダイオキシン類含有廃棄物の除去については平成28年度に、また、鉛含有廃棄物については平成29年度に除去しました。 さらには、平成27年度から実施している水質及び農作物のモニタリングでは、これまで周辺環境に著しく影響を与える結果は出ていません。

3. 施策の総合評価と今後の課題

【総合評価】

一般廃棄物の適正処理の確保及び産業廃棄物の適正処理の確保については、平成27年度に不法投棄発生件数の増加が認められたため、28年度から不法投棄多発地帯のパトロールを強化したものの、発生数は増加傾向にあることから、不法投棄の未然防止対策が十分ではないと考えられます。また、産業廃棄物処理施設などにおいても、廃棄物が適正処理されていることを立入検査で確認しています。

その他の廃棄物などの適正保管・処理の確保については、PCB保管等を行う事業者や使用済み自動車の解体業者などに立入検査を行い、適正保管・処理がされていることを確認しています。

【今後の課題】

不法投棄をなくすため、より効果的な対策が必要です。

4. 今後踏まえるべき環境変化

